

□地方創生交付金活用事業について

no	事業名	R3事業費等	評価指標及び実績値				事業内容	
		単位：円	指標	年度	KPI	実績値		単位
1	<p>■北海道十勝地域×東京台東・墨田区連携事業 ～大地のタカラ×江戸のチカラ 関係人口創出プロジェクト～</p> <p>本事業は、平成26年に東京特別区長会が「特別区全国連携プロジェクト」の取り組みを開始したことを契機に、平成29年度より十勝地域と台東区・墨田区との連携事業について検討を開始したもので、北海道十勝地域及び東京都台東区・墨田区の「人」や「企業等」が、一過性ではない「深い交流」を持続的に展開する環境を創り出すことにより、両地域の「関係人口」の創出・拡大を目指すもの。</p> <p>※地方創生交付金の利用状況 【推進交付金】（R2～R4） ※十勝全域と東京都台東区・墨田区の広域連携事業</p>	全体事業費 24,741,000	①観光消費額（十勝地域の額、台東区と墨田区の合計額を設定）	事業開始前	3,508	—	億円	<p>【令和3年度実施事業】</p> <p>1. 江戸の伝統を生かした十勝産品による新しい食文化の創出事業 (1)たいとう・すみだ・十勝ウィーク ①2Wayクッキング教室（R3.10.3） ②十勝食材フェア（R3.9.30～10.12） ③デジタル森林浴（R3.10.5～7） ④十勝産品の販売（R3.9.30～10.12） 他</p> <p>(2)たいとう・すみだ特産品づくり ①エゾ鹿肉を活かした特産品づくり（R4.3） ②エゾ鹿の革を用いた特産品づくり（R4.3）</p> <p>2. 十勝・東京スポーツ・アウトドア交流拡大事業 (1)交流プログラム（オンラインツアー）（R4.2.19～20）</p> <p>3. 北海道十勝地域と東京たいとう・すみだ戦略的交流事業 (1)交流戦略委員会の設置・開催（計3回） (2)交流戦略策定に向けた調査・検討 (3)情報発信（ホームページ、冊子の作成） 令和4年度以降も上記1.2.3.を柱に計画に沿って事業展開をしていく。</p>
				R2	268	-1,801		
				R3	143	集計中		
				R4	148			
		増加分累計	559	-1,801				
		うち 鹿追町分 事業費 756,000	②両地域において企業が連携して開発した健康増進や滞在型のプログラム、商品の件数	事業開始前	0	—	件	
				R2	1	0		
				R3	1	0		
				R4	1			
		増加分累計	3	0				
		交付金 378,000	③両地域の連携事業へ参画した個人のうち継続して参画意欲がある人数	事業開始前	0	—	人	
				R2	50	2		
				R3	50	131		
				R4	50			
		増加分累計	150	133				
			④イベント参加者へのアンケートにより十勝地域と台東区・墨田区の連携が大切とする住民の割合	事業開始前	47	—	%	
R2	2			28				
R3	2			19				
R4	2							
増加分累計	6	47						
2	<p>■交通モードの利活用により十勝地域の内外をつなぐ 交流人口拡大推進事業</p> <p>本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ十勝地域内の外出機会や観光客数の早期回復に向け、また、とち帯広空港の民営化が始まり道内他空港とのネットワークの強化を見据え、地域住民に必要な交通サービスの改善や、旅行者動態を踏まえた移動利便性を高めることで、持続可能な地域交通を目指し、関係・交流人口の創出・拡大による交流の活性化やまちへの定着を目指すもの。</p> <p>※地方創生交付金の利用状況 【推進交付金】（R3～R5） ※十勝全域の広域連携事業</p>	全体事業費 20,197,440	①十勝管内の乗り合いバス・タクシーの人口千人当たりの年間利用者数	事業開始前	22,067	—	人	<p>【令和3年度実施事業】</p> <p>1. 公共交通の利用実態調査</p> <p>2. 位置情報アプリを活用した行動履歴取得調査</p> <p>3. 地域住民向けのワークショップの実施</p> <p>4. 観光客や移住希望者の誘導に向けた新たな交通旅行商品の仕組みの検討</p> <p>5. 交通情報を連携させた観光・移住のコンテンツデータの整理と情報発信手法の検討</p> <p>6. 相互情報共有SNSサイトの作成</p>
				R3	51	集計中		
				R4	52			
				R5	102			
		増加分累計	205	0				
		うち 鹿追町分 事業費 495,012	②十勝管内の観光入込客数	事業開始前	10,264.5	—	件	
				R3	50	集計中		
				R4	65			
				R5	80.5			
		増加分累計	195.5	0				
		交付金 247,506	③十勝管内へのちょっと暮らし滞在数	事業開始前	13,005	—	人	
				R3	200	集計中		
				R4	300			
				R5	586			
		増加分累計	1,086	0				

< R3実績 > 第2期 総合戦略KPIについて

1年目 2年目 3年目 4年目

戦略番号	項目	指標	年度	現状値	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	目標年度	目標値	目標に対する実績率	総合戦略該当ページ
------	----	----	----	-----	--------	--------	--------	--------	------	-----	-----------	-----------

【基本目標 (1) 地域における安定した雇用を創出し、これを支える人材を育て活かす】

戦略1	学校教育	鹿追高校での英検2級取得者数	2018 (H30)	5	5	7			2023 (R5)	10	70%	10
戦略2	農業 (経営・基盤整備)	国営・道営農業基盤整備事業の実施地区数	2018 (H30)	5	5	4			2023 (R5)	4	100%	12
		多面的機能支払事業実施事業費 (千円)	2018 (H30)	101,430	101,369	101,342			2023 (R5)	101,000	100%	12
戦略3	農業 (安心・安全な農業)	環境保全型農業直接支払交付金事業取組者数	2018 (H30)	34	22	24			2023 (R5)	35	69%	14
		加工品開発製造支援件数	2018 (H30)	63	85	49			2023 (R5)	70	70%	14
		GAP取組者数	2018 (H30)	105	115	114			2023 (R5)	110	104%	14
戦略4	農業 (持続可能な農業)	バイオガスプラントによるバイオマス資源活用量 (t)	2018 (H30)	152,500	161,534	161,652			2023 (R5)	181,000	89%	16
		バイオマス事業における雇用数	2018 (H30)	19	23	21			2023 (R5)	27	78%	16
		水素エネルギーの利活用による水素製造量 (m ³)	2018 (H30)	25,208	18,461	26,484			2023 (R5)	50,000	53%	16
戦略5	商工業	商工会会員数	2018 (H30)	169	164	162			2023 (R5)	165	98%	18
		道の駅連携イベント実施数	2018 (H30)	2	0	0			2023 (R5)	10	0%	18
戦略6	エネルギー	自営線ネットワーク事業にかかわる雇用人数	2018 (H30)	0	1	1			2023 (R5)	1	100%	20

1年目 2年目 3年目 4年目

戦略番号	項目	指標	年度	現状値	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	目標年度	目標値	目標に対する実績率	総合戦略 該当ページ
------	----	----	----	-----	--------	--------	--------	--------	------	-----	-----------	---------------

【基本目標(2) 地域への新しいひとの流れをつくる】

戦略7	学校教育	親子留学者数	2018 (H30)	5	8	13			2023 (R5)	10	130%	22
戦略8	観光	観光客数	2018 (H30)	742,000	598,700	590,200			2023 (R5)	872,000	68%	24
戦略9	ジオパーク	とち鹿追ジオパーク ビジターセンター来館者数	2018 (H30)	3,000	1,933	2,197			2023 (R5)	3,300	67%	26
		とち鹿追ジオパーク 講座・ツアーなどの受講者数	2018 (H30)	400	257	642			2023 (R5)	600	107%	26
戦略10	花、公園	花によるまちのきれいさ (%)	2018 (H30)	97	85	81			2023 (R5)	110	74%	28
		フラワーマスター人数	2018 (H30)	67	60	60			2023 (R5)	78	77%	28
戦略11	交流	受入れホスト家庭数	2018 (H30)	308	318	318			2023 (R5)	358	89%	30
		国内姉妹提携都市数	2018 (H30)	0	0	0			2023 (R5)	1	0%	30
戦略12	行政運営	十勝管内の観光入込み客数 (延べ人数) (万人)	2018 (H30)	1,033	1,026	707			2023 (R5)	1,046	68%	32
		十勝管内バス乗客数 (万人)	2018 (H30)	459	451	326			2023 (R5)	464	70%	32

【基本目標(3) 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる】

戦略13	子育て支援	この地域で子育てしたいと思う 保護者の割合	2018 (H30)	97.7	94	90			2023 (R5)	100	90%	34
		子育て世代包括支援センターを 知っている妊婦の割合	2018 (H30)	0	-	42.3			2023 (R5)	50	85%	34

1年目 2年目 3年目 4年目

戦略 番号	項目	指標	年度	現状値	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	目標年度	目標値	目標に 対する 実績率	総合戦略 該当ページ
----------	----	----	----	-----	--------	--------	--------	--------	------	-----	-------------------	---------------

【基本目標（4）時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を**連携**する】

戦略14	高齢者福祉	高齢者福祉総合相談者数	2018（H30）	357	196	230			2023（R5）	400	58%	37
		ボランティア会員数	2018（H30）	160	143	160			2023（R5）	200	80%	37
戦略15	防災	市街地区行政区の防災訓練（行政区）	2018（H30）	0	0	0			2023（R5）	10	0%	40
戦略16	情報通信	農村地区の情報通信高度化事業（事業着前を0・着手（将来目標）を1）	2018（H30）	0	1	1			2023（R5）	1	100%	42
戦略17	コミュニティ	無作為抽出による会議などへの参加件数	2018（H30）	0	0	1			2023（R5）	5	20%	44
		ふれあいトークへの参加人数	2018（H30）	0	93	20			2023（R5）	300	7%	44
		行政区支援事業への参加数（行政区）	2018（H30）	24	8	8			2023（R5）	35	23%	44
戦略18	財政運営	行財政改革による経常的経費の削減効果（年間）（千円）	2018（H30）	0	157,980	108,678			2023（R5）	100,000	109%	46

令和4年度 鹿追町まち・ひと・しごと創生推進会議 意見・回答一覧

項目	意見内容	回答
KPIに関連する意見	<p>戦略2：農業（経営・基盤整備）</p> <p>多面的機能支払事業に関して、年々進む農家戸数の減少と共に経営規模が拡大し、農村景観・農地基盤の保全管理に向けた地域活動の負担は増しており、当該事業による支援は本町農業の安定的発展に向け重要な支援策となっている事から、今後も更なる事業の充実と拡大を期待します。</p>	<p>多面的機能支払事業は、2014（平成26）年度に法制化されたことにより恒久的な事業となりました。地域共同で行う多面的機能を支える活動や、地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図るため、今後も継続的に取り組んで参ります。</p>
	<p>戦略4：農業（持続可能な農業）</p> <p>バイオガスプラントに関し、基幹産業である酪農家の経営中止が今後も一定程度見込まれる中、本町の耕作地を最大限有効活用し食料生産基地として発展する為には、バイオガスプラントを始めとする経営規模拡大に対応したアウトソーシングは必須であり、糞尿散布に伴う臭気対策と同時に循環型農業の推進に向けても更なる施設の充実を期待します。</p>	<p>3基目のバイオガス施設に関しましては、2020（令和2）年度にマスタープランの策定を終えたところであります。これにより施設規模や課題などが明らかとなり、特に多額の建設費や液肥の有効活用、発電した電力の系統接続など、既存の施設を建設した時とは状況が異なる部分もあります。</p> <p>今後ひとつひとつの課題を精査し、慎重に検討を重ねる必要があると考えますが、可能な限り要望に応えられるよう進めて参ります。</p>
	<p>戦略4：農業（持続可能な農業）</p> <p>水素エネルギー利活用に関し、脱炭素に向けた取り組みが世界的に注目される中、鹿追町の取組は消費地からも評価を受け、本町で生産される農畜産物の販売にもプラスの効果を期待しています。</p>	<p>これまで本町で行われてきた水素サプライチェーン実証事業が2022（令和4）年度から商用化されたことに加え、本年4月には、日本全国に脱炭素の取組を波及させるモデル地域として、環境省に脱炭素先行地域として選定されました。これまで以上に本町での取組が注目されるようになり、ゼロカーボンで作られた農産品として地域農業が差別化されることにも期待し、引き続き事業実施を進めて参ります。</p>
	<p>戦略5：商工業</p> <p>現状値169に対し目標値165とありますが、なぜ減るのか疑問です。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響や事業者の高齢化などにより、事業を継続できず、商工会員数が減ることが予測される中、町内企業へ支援することで商工会員数の減少を抑えることを目標としました。</p>
	<p>戦略8(観光)、9(ジオパーク)、12(行政運営)、17(コミュニティ)については、新型コロナの影響が大きかったと推測します。</p>	<p>ご推測の通り、新型コロナウイルスの影響が原因と考えております。コロナ禍ではありますが、今後も継続的に各種施策を取り組んで参ります。</p>
	<p>いただいた資料に実績値が記載されていますが、第2期総合戦略に基づいた行動がどの程度この値に反映しているのかわかりません。目標年度前に100%を超えているものもあれば、未達の事項もあります。達成または未達成の理由や、この結果を踏まえて、今後どのように行動していくのかについての言及も必要かなと感じました。</p>	<p>議案に記載しておりますKPIに対する実績だけでは、ご指摘の通りKPI達成のためにどんな取り組みをしたのか、達成・未達成の理由、今後どのように行動するのかわかりません。</p> <p>2024（令和6）年度から運用を始める第3期総合戦略を策定する際に、見直すことを検討します。</p>

項目	意見内容	回答
北海道十勝地域×東京台東・墨田区連携事業	江戸の伝統を活かした十勝産品による新しい食文化の創出事業－アたいとう・すみだ十勝ウィーク－ (2) 十勝食材フェアについて、複数回実施できないでしょうか。	現状の予算の範囲内では難しいのが実情です。当該フェアについては、あくまでも台東区・墨田区の飲食店に十勝産食材の良さについて知っていただくためのきっかけとして実施しているもので、最終的には関係事業者の中から民間事業者どうしでのつながりを作っていくことが大切と考えています。
	十勝・東京スポーツ・アウトドア交流拡大事業－交流プログラム（オンラインツアー）について、オンラインではなく実際に開催できないでしょうか。	2021（令和3）年度においては当初は実際のツアーを予定していましたが、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かない中で、オンラインツアーに切り替え、コロナ禍におけるオンラインツアーの検証を行ったところです。 なお、2022（令和4）年度は実施のツアー（2回）を9月に計画しております。
	2021（令和3）年度に様々な事業が実施されているようですが、十勝の中の「鹿追町」をアピールするような取り組みは講じられたのでしょうか。	全体の取組の中で、鹿追町の食材や特産物をアピールする取組を他の自治体同様に行っているほか、子どもの交流事業については18町村の中で鹿追町と芽室町をモデル地区とし、2022（令和4）年8月に台東区児童の受入につなげるなど、本町が推進する事業を本事業内で実施することができています。
	観光消費額の2020（令和2）年度実績は1,801億円のマイナスとありますが、KPIの数値は事業開始前の数値と比較した増加分で、実績値は新型コロナの影響で観光が落ち込んだので、前年比1,801億円のマイナスということでしょうか。	事業開始前の3,508億円に対して2020（令和2）年度は268億円増の3,776億円、2021（令和3）年度は更に143億円増の3,919億円を目標値としていたところですが、結果として令和2年度は3,508億円から1,801億円減少して1,707億円、令和3年度は更に392億円減少し1,315億円（見込値）となっています。 これは、令和3年度においては新型コロナ感染症の拡大による緊急事態宣言が年度前半において断続的に発出され、移動制限等により観光客が激減したことが理由です。
	鹿追町を選択させるための施策と効果が不明です。参加している十勝の他自治体と比較して、結果に違いはありますか。違いがあるとすれば、その理由は何でしょうか。また、その差を改善するためにどうしていますか。	全体の取組の中で、鹿追町の食材や特産物をアピールする取組を他の自治体同様に行っていますが、その中で鹿追町を選択させるような取り組みにまでつなげることができていない現状もあり、結果に大きな違いはないと言わざるを得ません。 しかしながら、子どもの交流事業については18町村の中で鹿追町と芽室町をモデル地区とし、実際に2022（令和4）年8月に台東区児童の受入につなげるなど、本町が推進する事業を本事業内で実施することができています。

項目	意見内容	回答
交通モードの活用により地域の内外をつなぐ交流人口拡大推進事業	町・商工会・農協の各事業を細かく分析する必要があると思います。	<p>本事業においては、十勝全体の広域公共交通の利用実態の調査とその利用促進を検討していくことを目的としており、個別の自治体内の公共交通の在り方についてまで検討するものではありません。</p> <p>しかしながら、本町における交通施策についても同様に検討していく必要があります。2020（令和2年）度には脱炭素の観点から公共交通の在り方に関して調査を行っているところですので、今後の検討課題としていきたいと考えています。</p>
	とち帯広空港と鹿追町とのコラボ企画は実施していますか。地域外の人が空港に来て、鹿追町のパンフレットがおいてあるだけなので、もっと鹿追町に人が流れるように、関係人口を増やせるように、空港内で鹿追町のPRができるといいと思います。	<p>現時点はコラボ企画は実施していません。</p> <p>本事業において、観光客の誘導に向けた新たな交通旅行商品の仕組みが検討されていることから、その中で本町のPRについても検討していきたいと考えています。</p>
	とち帯広空港から鹿追町までの交通アクセスはスムーズですか。空港に飛行機が到着してから鹿追町まで来るバスの時間は、ちょうどいい時間のものがありますか。鹿追町までの直行便があってもいいのではないですか。	<p>乗用車（観光客にとってはレンタカー）を利用の場合は、芽室ICまたは帯広芽室ICを利用することで1時間程度のアクセスとなっており、帯広広尾自動車道によって利便性が高まったといえます。</p> <p>また、公共交通機関を利用の場合は、とち帯広空港連絡バスを帯広駅前まで乗り継ぎ、拓殖バスに乗車することになり、乗車時間は約1時間40分、鹿追町市街地までの到着ですと、乗り継ぎ時間もおおむねアクセスが良いものと認識しております。</p> <p>鹿追町内への直行便があるのは理想かもしれませんが、それに対する需要（収入）と、実施経費、それに見合う効果を十分検討する必要があり、民間事業者単独での実施は難しいと言わざるを得ないと考えます。</p>
	実績が集計中とのことなので詳細についてはわかりませんが、十勝全域の事業であることは理解しておりますが、鹿追町としてどうなのかということまで踏み込んだ考察はできるとより良いのかなと感じました。	<p>ご認識の通り、本事業においては、十勝全体の広域公共交通の利用実態の調査とその利用促進を検討していくことを目的としており、個別の自治体内の公共交通の在り方についてまで検討するのではなく、また実施1年目ということもあり調査に多くの時間を費やしているのが現状です。その中でも、本町に係る調査結果が本年度に示されており、今後の検討資料となっております。</p> <p>広域交通については沿線自治体ひいては生活・経済圏域で取り組むべき広域課題であり、鹿追町を選択させるための施策という趣旨のみで取り組んでいるものはございませんが、鉄路がない本町にとっては唯一の公共広域交通手段であるとともに、基本的に鹿追線・然別湖線の終点を抱えていることから、路線の維持については他自治体よりも積極的に関与していくべきと考え、取り組んでいるところです。</p> <p>また、本町における交通施策についても同様に検討していく必要があります。2020（令和2年）度には脱炭素の観点から公共交通の在り方に関して調査を行っているところですので、今後の検討課題としていきたいと考えています。</p>
	鹿追町を選択させるための施策と効果が不明です。参加している十勝の他自治体と比較して、結果に違いはありますか。違いがあるとすれば、その理由は何でしょうか。また、その差を改善するためにどうしていますか。	<p>本事業においては、十勝全体の広域公共交通の利用実態の調査とその利用促進を検討していくことを目的としており、個別の自治体内の公共交通の在り方についてまで検討するものではありません。</p> <p>広域交通については沿線自治体ひいては生活・経済圏域で取り組むべき広域課題であり、鹿追町を選択させるための施策という趣旨のみで取り組んでいるものはございません。</p> <p>しかしながら、本町における交通施策についても同様に検討していく必要があります。2020（令和2年）度には脱炭素の観点から公共交通の在り方に関して調査を行っているところですので、今後の検討課題としていきたいと考えています。</p>